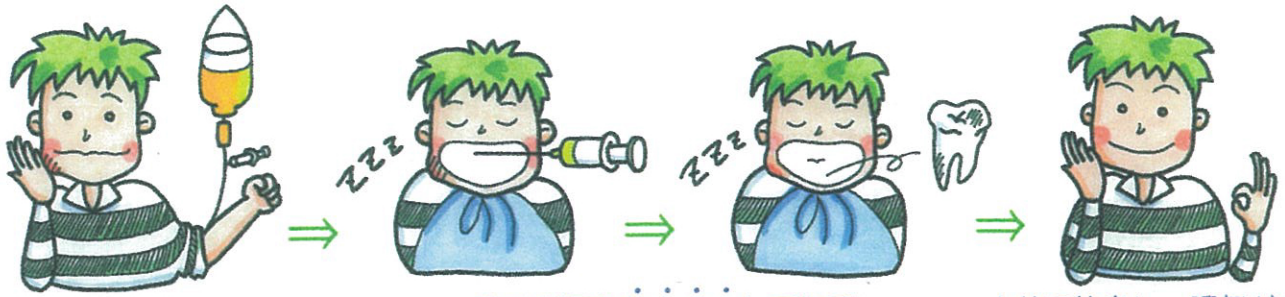
一般に、外来歯科手術は局所麻酔で行います。
痛みはありませんので、安心して手術を受けていただくことができます。

とはいっても…、意識ははっきりしています。手術中の音や振動などがすべてわかってしまい緊張や不安が高まってしまいます。緊張や不安は心身に大きなストレスをもたらし、場合によっては、予期せぬ重篤な偶発症をも引き起こしかねません。

局所麻酔による手術に静脈内鎮静法（じょうみゃくないちんせいほう）という方法を併用すると、手術中の意識が薄れ、心身に与えるストレスを減少させることができ、より安全で快適に手術を受けていただくことができます。



鎮静剤を注射します。
しばらくすると、
眠くなってきます。

意識が薄れウトウトしている
間に局所麻酔の注射をして、
その後、手術を完了します。

十分に休息し、眠気やふらつきが無くなってから帰宅します。

（この方法は、鎮静剤のみを投与して軽い眠りを誘発させる方法です。…全身麻酔ではありません。
使用する鎮静剤は、睡眠薬等と同系統のもので安全域の広い薬剤です。）

静脈内鎮静法を併用した手術に伴う全身管理は、歯科口腔外科領域における全身麻酔、鎮静法、疼痛治療等を専門に扱う歯科麻酔医（日本歯科麻酔学会認定医）が担当します。

手術に先がけ、診察（問診・血圧測定・胸部聴診等）および検査（尿検査・血液検査・心電図等）を実施し、患者さん個々の健康状態や体質等を考慮した管理計画を立てます。

手術中は、最新の生体情報モニターを駆使し、脈拍・血圧・心電図・呼吸等の全身状態を厳重に監視しながら鎮静管理を行います。

手術後は、十分に休息をとったのち（手術終了後1～2時間程度）、眠気やふらつきが無くなってから帰宅していただきます。